

請 願 文 書 表

(保健福祉局)

受 理 番 号	1 1 0 3	受 理 年 月 日	令 和 3 年 7 月 9 日
件 名	現行の敬老乗車証制度の存続		
要 旨	<p>新型コロナウイルスの影響で、市民の命と暮らし、雇用がますます危うくなる中、京都市の住民福祉サービスの充実を図ることが一層求められている。</p> <p>敬老乗車証は高齢者の生活向上に大きな効果がある。敬老乗車証は、高齢者が直接的に命をつなぐ通院や買物に必要な不可欠な制度となっている。また、敬老乗車証があることで外出の回数が増え、高齢者の健康や、外出先での買物や食事等で507億円の経済効果があるとの試算もある。</p> <p>については、正に市民の宝である敬老乗車証は現行のまま存続することを願う。</p>		
請 願 者			
紹 介 議 員	井坂 博文, 玉本なるみ, 井上けんじ, とがし 豊, 河合ようこ		
付 託 委 員 会	教 育 福 祉 委 員 会		